

南部アフリカ周遊 2024.03.26 ~ 2024.04.21

■ 2024年3月26日 ■



南アフリカのヨハネスブルグに到着しました。今日から約1ヶ月間、南部アフリカの国々周遊旅の始まりでございます。4年ぶりの海外旅行、それも危険都市で名高いヨハネスブルグ・スタートということで、緊張しておりましたが、皆さんとても親切でした。

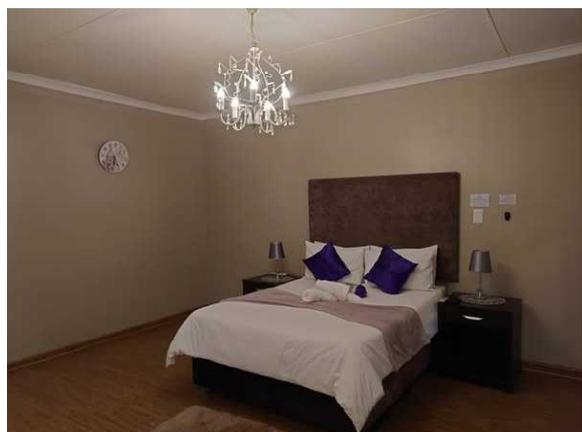
写真のビールは「Carling Black Label」という地元民に人気のビールだそう。

■ 2024年3月27日 ■



ヨハネスブルグ国際空港から、ご覧の車でエスワティニ（旧スワジランド）へ。ついに百カ国達成でございます。途中立ち寄ったドライブインには、バッファローとサイがおりました。流石アフリカです。首都ムババーネの四つ星ホテルに宿泊。ビールとワインを入手して贅沢してます。

■ 2024年3月28日 ■



ムババーネから南アフリカのニューカッセルへ。ミニバスで移動を試みましたが、まずはマンジニに行けと言われ、そこで3時間待機。

ミニバスは満車にならないと出発しないシステムなので仕方ない。何時まで待っても乗客2名のみで、他のバスで別の都市に行くと告げたら、出発してくれました。

5時間かかってニューカッセルに到着したはいいがバス停からホテルまでのタクシーが見当たらない。乗合バスで移動するのがポピュラーなようです。おじさんに案内してもらって乗り込んだはいいが、ホテルの近くを通るはずもなく、途中で慌てて降りました…降りた場所からホテルまで2.6キロ。35分の苦行でございました（涙）。

■ 2024年3月29日 ■



ニューカッセルのタクシーランク（乗合バス乗場）からレソト方面に向かうミニバスを探す。ベスレヘム行きバスに乗り込んだつもりが結局途中のハリスミスまでだった…。道中、未舗装路を長く走ったのでお尻が痛くてタイヘン。おまけにドブロク片手のおばちゃんが上機嫌でずーっと歌いまくり、他の乗客もご唱和し続けておりました。



ハリスミスでフィックスバーグ行きバスに乗り換え。親切な乗客のお姉さんが案内してくれました。どちらのミニバスも満員御礼。ぎゅうぎゅう詰め。へろへろで今宵のホテルに辿り着きました。

■ 2024年3月30日 ■



フィックスバーグから歩いて国境越え、橋一本約5分でレソト入国（マプツォエ）。101ヶ国達成。首都マセル行きのミニバスに乗り込む。客を限界まで乗せる方針のようで、立ち席まで詰め込みなさる。オマケに所々何度も乗り降りを繰り返すので遅々として進まない。直通なら1時間ちょいの距離を2時間半（涙…）。

マセルのタクシーランク到着後、ホテルまで歩く。連日5～6キロ歩いてるので体が引き締まってきたのは嬉しい誤算。

ホテルにバスタブが有り歓喜。連泊を決める。

湯船に浸かりビールを飲んで生き返る。夕食はホテルのレストラン。美味しかったあ！

■ 2024年3月31日 ■

レソトの首都マセル滞在2日目。今日くらいは乗り物に乗りたくない。

朝食が豪華すぎます。通常一日一食の身にはちと辛い。

観光名所は特になく、ビール調達のため、メイン通りを歩く程度。それでも往復5キロ。登山靴大正解でした。

美味そうに見えたので買ったトウモロコシ。固くてとても食べられない。粒だけにしてコッヘルで煮込んでみてもほとんど変わらず。地元民は本当にこれ食べてるのか?? 鳥の餌にします。

今日は、ミニバスで南アフリカのブルームフォンテインへ移動。インターケープ社の豪華夜行バスでケープタウンに向かいます。



■ 2024年4月1日 ■



マセルのミニバス乗場にブルームフォンテイン行きはなかった。何人か尋ねたがタクシーでいけという。どうやらマセル郊外の国境までタクシーを使い、歩いて国境越えし、南アフリカ側の国境からミニバスに乗ってそれぞれの都市に向かうシステムのような感じだった。よく調べてなかった僕が悪い。いや結構焦ったよ。ちなみに国境までのタクシー代金は 13 ランド (104 円)。聴き間違いで前のタクシーに 30 ランド払っちゃた。

ブルームフォンテイン到着後、徒歩で長距離バスターミナルへ。治安の悪い地区だから気をつけろと書いていたが、そんな気配は全くなかった。

さて、夜行バス 13 時間半の旅は快適…ではなかった。なぜあれほどまでに冷房を効かすのか!

理解に苦しみます。持っている服全部着て、袋シャツに入れてエマージェンシーシートを巻いてもまだ寒かったよ。地元民は平気なのだろうか??? みんな冬の格好でしたけど…。

チェックインまで時間があるので市内観光。ウオーターフロントへ。有名なテーブル・マウンテンがよく見えました。

■ 2024 年 4 月 3 日 ■



憧れの喜望峰ケープポイントにやって参りました。アフリカ南西端に位置し、南回り航路の重要なポイントとなったこの地を歴史の教科書で知り、いつかは訪れてみたいと思ってました。またひとつ夢が叶いました。

ケープタウンからのツアーに、キャンセル待ちで何とか参加できました。

もうひとつのアクティビティはペンギン浜ボルダーズ・ビーチ。野生のペンギンがたくさん。卵が大きくてびっくり(・・;) 鳴き声も初めて知りました。

■ 2024 年 4 月 5 日 ■

南アフリカ・ケープタウンからインターケープ社スリープライナーで、ナミビア首都ウイントフックに向かいました。今回は、窓側の、前に座席がない足元の広い席。一度経験しているので、寒さ対策など準備万端。午後 3 時出発、翌日午後 2 時到着、23 時間の旅の予定でした。

国境に着いたのは深夜 12 時過ぎ。出入国手続きそれぞれに、かなり時間が (合計 2 時間半) かかり、なんだか嫌な予感が…。

翌日、目を覚ますと何処かの街のガソリンスタンド脇に停車しているではありませんか。

国境から 144 キロのグリユナウという所でした。この時点で午前 8 時半過ぎ。どうやらエンジントラブルの様子。2 時間後修理の車がやってきたけど、結局は別のバスに乗り換えることに。

出発したのは午後 1 時過ぎ…。グリユナウからウイントフックまで 658 キロ。直行しても 6 時間以上かかる…。オマケにこのバス、トイレがないせいか、2 時間毎にドライブイン休憩なさる…。

結局到着は午後 10 時半。実に 8 時間半の遅れ。31 時間半かかりました。(成田からヨハネスブルグが 23 時間半ですぜダンナ…)

ホテル到着は 11 時。スーパー店は当然閉店時間。自炊式の宿を選んだのが裏目に出た。残ったパン一切れとポケットウイスキーで晩酌。バタンキュー。



■ 2024 年 4 月 6 日 ■



ナミビア首都ウイントフックに3泊します。夜遅く着いた自炊式ホテルは連泊出来なかったけど、近くにもっと安くいいホテルがあり、ここで2泊。今日はキャッシングとバス乗車区間の延長手続きのため市内中心部へ。市内観光もして参りました。インDEPENDENSストリートがメインです。写真は聖メリー教会。時計門？

ホテルの近くにスーパーがあり、食料&お酒をゲット。惣菜をレンチンして、ビールにワイン。こたえられません。

明日は、またあの因縁のバス、インターケープ社のスリープライナーでザンビアへ。午後3時発翌日午後2時15分着。今回は遅れないで欲しいなあ。

■ 2024年4月9日 ■



ザンビア行きインターケープバス。カティマ・ムリロというナミビアの街で乗客の大半が降り、その後10人ほどの人数で、ナミビアからボツワナとザンビアの二つの国境を越えて走りました。

つまり、出国と入国の手続きをを4回おこなったわけでありませう。今回は全てスムーズで、終点リビングストーン到着は、なんと！ 予定時刻の2時間前でしたあ。

ボツワナ入国後、チョベ国立公園を通ったら道端に十数頭の像の群れ（撮影失敗）。

その後、一頭の怒った像に遭遇。インパラや猿も見ました。サファリツアーに参加した気分でございます。

南アフリカとナミビアは先進国並みの物価と街並みでしたが、ここザンビアは一気に、田舎に来た感じ。バングラデシュを思い出しました。チェックインしたホテルホテルは電気がつかず、Wi-Fiもできない。愕然としました。

仕方ないから現地SIMMを買いに行き、手続きに40分。ふう。

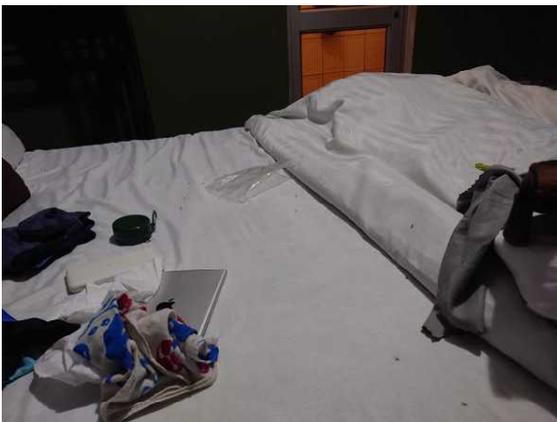
次に、バスに忘れ物（ダウンベスト）したので降りた場所に取りに行きました。ここにはないと言われたので諦めかけたら、その場にいた女性二人がバスのある場所に連れて行ってくれるという。

車に乗せてくれ、その場所へ。乗ってきたバスは清掃中で僕の忘れ物は直ぐにゲットできました。ホテルまで送ってくれるというご厚意に感激したのも束の間、お金を要求されました（涙…）。

US\$ドル渡したけど安く済んだのかなあ。

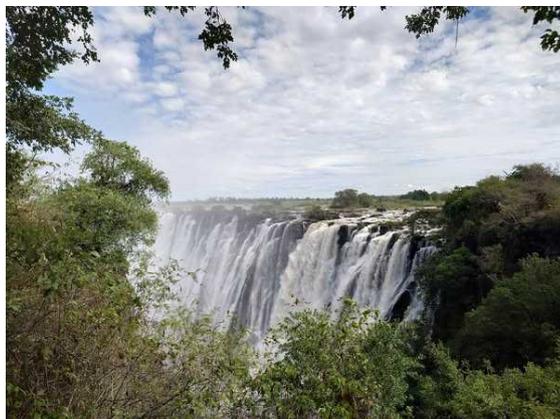
夕方ホテルに戻ったら、電気もWi-Fiも使える状態になっていて一安心。フロントの人が殺虫剤を撒きましようかというのでお願いしたら、ベッドの上に十数匹がバタバタと落ちてきて絶句（涙…）。

■ 2024年4月10日 ■



停電は翌日も起きた。午後2時から停電が始まった。何時に復旧するか聞いたら、トゥエルブだと。実際は18時半に照明が灯り、20時頃エアコン稼働、充電可能状態になった。つまりこのホテル、停電ではなく、計画的に電気を切っているらしい。今日は朝7時15分に電気が止まり、チェックアウトの10時までそのままだった。史上最悪宿に認定せざるを得ない（涙…）。スーパーで買った惣菜やビール、ワインは美味しかったが、暗闇の中、ヘッドランプ灯しながらの晩酌は惨めだった。ホテル連泊は部屋で過ごしてから決めるべきと反省しきり。殺虫剤で蚊がベッドにボトボト落ちた証拠写真をご覧ください。今日のホテルはとても綺麗です快適です。もちろん、電気はちゃんと使えます。

■ 2024年4月11日 ■



今回の旅のハイライト。ヴィクトリアの滝。
2018年南米イグアスの滝に続く世界三大瀑布ふたつ目制覇であります。ザンビア側の滝を観光しましたが圧巻でございました。途中から水しぶきやら雨やらでびしょびしょになり慌てて雨具を取り出しました。その後、ヴィクトリア大橋を徒歩で渡り、ジンバブエ入国。アライバルビザ30米ドル。南部アフリカ7カ国目、通算105ヶ国。



■ 2024年4月13日 ■



12日（金）朝方8時ホテル出発。ヴィクトリアフォールズ・バスターミナル到着後すぐ（9時前）バス乗車（15米ドル）9時40分頃出発、16時半頃ブラワヨ到着
降りた場所にハボローネ行きバスが止まっていた。持参した米ドル現金残り24ドルが、バス料金ピッタリとは、何たる奇跡。手持ちの現金は、日本円以外では南アフリカランド100のみ。
夜行バスで水も買えないと困るので。バスの人に頼んで5米ドルに両替してもらう。
乗ったバスは超オンボロで、出鼻からエンジンの調子がおかしかった。国境手前で1時間ほど止まり修理。翌朝目的地の130キロ手前でまた故障。30キロ手前で4度目。明るくなってわかったのだが我々のバス、真っ黒な煙を撒き散らしながら走っているのではないかと、私はこのバスを「黒煙エンスト爆音ミュージック号」と名付けざるを得なかった
それでも、乗客が少なかったお陰で3列オンボロシートを独占できたから結構眠れました。
なんやかんやで到着は午前11時半。予定より3時間遅れたけど、もう気になりません。
ホテル出発からボツワナ首都ハボローネ到着までネットにつながることが出来ませんでした。
バスターミナルにFree Wi-Fiがなければ、ネットでのホテル予約は出来なかったもので、運が良かったというべきかなあ。

■ 2024年4月14日 ■



ボツワナは物価安いみたいです。ハボローネバスターミナル付近にはショッピングモールや屋台などが集中していて、買い物には困らない。

もうバス移動には疲れたので、ハボローネで「沈没」（バックパッカー用語。一か所に滞在して移動しなくなる）するつもり。19日頃まで移動せず、のんびり過ごすことにいたします。

■ 2024年4月15日 ■



ホテル近くのショッピングモールに庶民的レストランあり。メニュー写真左端のフライドリスを注文しようとしたが、作り置きはないらしく、濃い茶色のご飯と野菜の煮込みとキャベツのサラダを盛り付けてくれた。13 プラ（146 円）。店内で食べている人もいたが、お酒は頼めないで迷わずテイクアウト。スーパーで買った鶏モモと合わせて豪華晩酌。

今日は、明日のヨハネスブルグ行きバスチケットをゲット。小腹がすいたので、持参のコッヘルと湯沸かしでラーメン作り。今晚はボツワナラストナイトを楽しむ予定。

■ 2024年4月16日 ■



何時も肉ばかり、それも当たり外れのないチキンばかりチョイスして来ました。2～3日前に豚肉ステーキと思って買ったモノは、平たいつくねでした。ボツワナ・ラストナイトは魚をチョイス。

淡水魚なんだろうけどあまり味はしなかった。左奥は「パリチ」というボツワナ国民の主食。トウモロコシの粉を練ったものだそうで、これまたあまり味はしなかった。

街を歩くと色んな人が声をかけてくるけど、大体はニーハオ。中国も日本も区別はつかない様子。カンフーポーズをしたりジャッキーチェンと言われることも度々…南米でも同じ体験をシマシタ。

■ 2024年4月17日 ■



ハボローネから国境越えて南アフリカ再入国。ラステンバーグ、行政首都プレトリアを経てヨハネスブルグ国際空港へ。高速道路を長く走ったお陰で快適至極。

到着後、エチオピア航空カウンターへ。帰国便の変更を申請。明日明後日の追加料金は9万超と言われる。エチオピア航空から直接買った航空券だから、追加料金無しで変更可能と思ったが、考えが甘かった。19日の便なら26000円で済むとのことでそれに決める。

ホテルの空港送迎シャトルでエメラルドゲストハウス。ヨハネスブルグ初日に泊まった宿。今回は壁コンセントの電気が使えず困惑。充電も湯沸かしも出来ずTVもつかず（見ないけど）、虚しい夜を過ごす。本日10時（日本時間17時）唐突に回復。

■ 2024年4月18日 ■



ヨハネスブルグ国際空港隣接、ケンプトンパークという地区に滞在中。長閑で治安の良い場所で、安心してお散歩出来ます。1.5キロ先の酒屋目指して3度足を延しましたが、結局店じまいしたと判明。

それならばと、ホテルの無料シャトルを利用し空港へ。空港内のスーパーで Wine2 本ゲットして来ました。残念ながら、ビールはノンアルしか売ってませんでした。ビール飲みたい人はレストランで飲みなさいというシステムのようなのです。

昨夜はホテルのレストランを利用。チキンカレー、すごく美味しくてびっくり。

■ 2024年4月19日 ■



南部アフリカ周遊旅も昨日が最終夜。ホテル敷地から一步も出ずに過ごしました。これから冬に向かう季節とあって、朝夕は寒いくらい。それでも日中陽がさすと、ぼかぼか気持ちいい。

ご覧のプールベンチでワインなどちびちびやりながら過ごす時間もまた至福でございます。

今旅最後の夕食はビーフシチューをチョイス。大当たりでした。iPad mini で映画を2本観て就寝。今日午後2時半（日本時間午後9時半）の便で帰国します。到着は20日午後8時の予定。

■ 2024年4月21日 ■



ヨハネスブルグ→アジスアベバ→仁川→成田とエチオピア航空を乗り継ぎ。成田空港到着だけが20分遅れ、予定の電車を逃しちゃった。

お陰で柏駅前ホテル到着は午後11時少し前。居酒屋を諦めファミマで食材ゲット。お寿司食べたかったあ。蕎麦にするか迷い、結局冷やし中華。久しぶりの湯船に只々感激。

本日、新潟経由で金浦駅 16 時 11 分着、そして帰宅。今年の桜、何とか間に合いました。皆様、たくさんの「いいね」、コメント、ありがとうございました。

